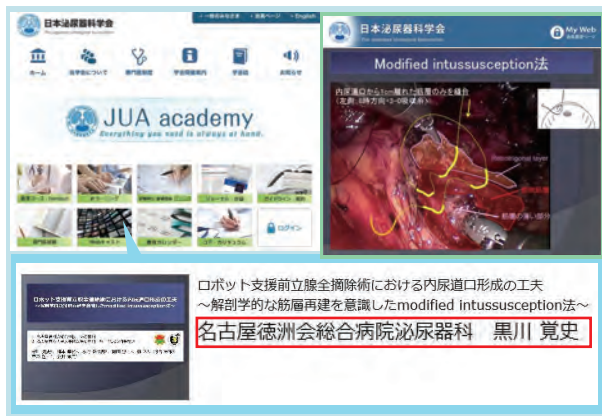


してしまう手術ですので、前立腺の大事な働きを失ってしまうという宿命もあります。なるべく機能温存ができるよう、今後も努力を重ねていきたいと思えます。



▲日本泌尿器科学会HPに当院の手術ビデオが掲載

腎臓がんについて

腎臓がんも、残念ながらどんどん増えていることが報告されています。1975年と1996年の腎臓がんの罹患率を比較すると、男性で3.5倍・女性で4.0倍に増加しています。また、腎臓がんのリスクを高めてしまうものとしては、喫煙、肥満、高血圧などが明らかになっています。腎臓がんは、早期であれば手術での完治も可能です。

腎臓がんのダヴィンチ手術について

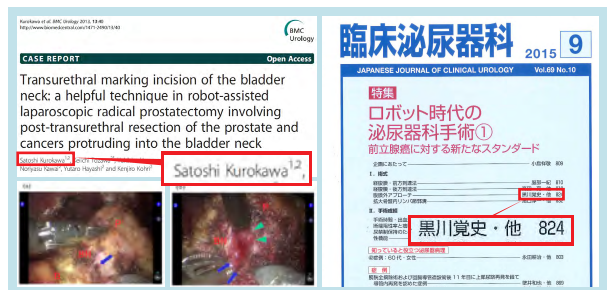
2016年4月に保険適用されましたが、私たちは2013年4月からこの手術を開始しました。2017年9月までに30人以上の患者さんに手術させていただいた実績があります。腎臓がんには2つの手術方法があります。腎臓を全摘する方法と腎臓がんだけを部分切除する方法です。近年、「腹腔鏡手術」が一般的になってきました。「腹腔鏡手術」では、腎臓を全部摘出することは普及したものの、腎臓がんだけを部分切除することは難しく熟練が必要だとされていました。そこで3Dモニター下での「ダヴィンチ手術」が開発されました。腎臓の全摘手術では、残った腎臓に負担がかかり慢性腎臓病となり、ひいては心筋梗塞や脳卒中にかかりやすく

なってしまいうというリスクがあります。私たちは患者さんのリスクを少しでも減らすために、保険適用前の2013年から「ダヴィンチ」を用いた腎部分切除術を行ってきました。手術自体の体への負担を減らすのは当然のことですが、手術後も体に負担を掛けずにすむような治療にこれからも取り組んで参ります。



当院での工夫と成果について

これまでに、ダヴィンチ手術のさまざまな工夫について国内外に発信してきました。この小さな工夫を積み重ねてきたことが、5年間でどのような成果になったのか…。近いうちに、世界へ向けて発信する予定です。その際は、また報告させていただきます。



さらに良い医療を提供できる泌尿器科を目指して

2017年4月から、泌尿器科の新しいメンバーとして藤原医師が加わりました。組織が成長していくために、変化は不可欠な要素だと考えています。今後、ますます泌尿器科をパワーアップさせ、患者さん一人一人に安心できる治療をうけていただけるよう務めてまいります。また、日によっては外来診察が混雑してお待たせすることもあります。どうぞよろしくお願いたします。



▲藤原医師